

日本骨髄バンクの現状（平成 21 年 1 月末現在）

	12 月	1 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,565	2,736	331,118	419,808
患者登録者数	196	211	2,431	26,799
骨髄移植例数	78	106	-	10,174

20 歳未満のドナー登録者数

1 月 116 人

合計 9,188 人（17 年 3 月～）

51 歳以上のドナー登録者数

1 月新規 79 人

延長 316 人

合計 13,570 人（17 年 9 月～）

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄採取キット（バクスター社製ボーンマロウコレクションキット）の欠品について

骨髄移植推進財団では、12 月 17 日にバクスター社から欠品に関する一報を受け、その緊急的対応について、以下の 4 点を基本として、厚生労働省および日本造血細胞移植学会と協議を重ねてまいりました。

骨髄採取キットの供給が滞ることがないようにすること

患者さんや採取施設に対して費用面で迷惑をかけない（負担増とならない）ようにすること

血縁間・非血縁間の骨髄採取について一体的に対応すること

万一採取施設で新たに書類作成等の手続きが必要な場合においても、その負担は最小限とすること

このたび、バクスター社製品に代わる代替品の調達について、1 月 28 日、バクスター社がバイオアクセス社製品の製造販売承認申請を行いました。目下、国において承認手続きが鋭意迅速に進められています。これにより、バクスター社製品が欠品となる前にこれに代わるものとしてバイオアクセス社製品が供給される見通しです。また、社会保険診療報酬上の扱いは、現行のバクスター社製品と同様となり、患者さんや採取施設へのご迷惑はかからない見込みです。血縁、非血縁一体的な対応となります。

さらに当財団では、相談体制を充実すべく、1 月 26 日に「骨髄採取キット在庫相談室」を開設いたしました。相談室では骨髄採取の予定を把握し、採取キットが必要な時に確実に供給されるようバクスター社と協力して採取キットの確保と調整を行っています。院内在庫把握のためのアンケートや採取キットの融通にご協力いただいている各施設の皆様に心より感謝申し上げます。

現在、血縁・非血縁とも 2 月の骨髄採取に関しては、バクスター社製採取キットが確保されています。3 月の骨髄採取については、バクスター社製採取キットで上半期分は確保されています。下半期分については、バイオアクセス社製品が供給される見通しですが、なお可能な範囲でバクスター社製品についても調整を進めています。関係者の皆様におかれましてはご心配なさらずに調整を進めてくださいますようお願いいたします。

なお、2 月の骨髄採取予定数は 82 件であり、前年よりも 18 件少なくなっていますが、これは、昨年は閏年で今年は昨年よりも 1 日少ないこと、2 月 5 日（木）6 日（金）に造血細胞移植学会が開催されたためこの両日に少なくとも非血縁の骨髄採取が 1 例も行われなかったこと（昨年は 2 月 29 日、3 月 1 日に開催）等によるものであり、採取キットの供給による影響ではないと考えられます。ちなみに、1 月から 3 月まででみると、昨年よりも骨髄採取（予定）数は多くなっています（昨年 272 例、今年 289 例：2/5 現在）。

「骨髄採取キット在庫相談室」 財団法人骨髄移植推進財団 ドナーコーディネーター部

担当：折原（おりはら） 橋場（はしば）、TEL：03-5280-2200、FAX：03-5283-5629

2 コーディネーターブラッシュアップ研修会 & 造血細胞移植学会

2月6日(金)・7日(土)の2日間、札幌市で「第14回コーディネーターブラッシュアップ研修会」が開催され、120名のコーディネーターと事務局員等45名が参加しました。なお、前日の2月5日(木)・6日(金)には、同地で「第31回日本造血細胞移植学会」が開催されました。研修会の開催テーマは「コーディネートの新しいパラダイムを探る～コンピテンシーと末梢血幹細胞移植～」でした。最初のプログラムである「骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会」では、調整医師やさい帯血バンクネットワークの方々とのコーディネーターが初めて一堂に会する機会となりました。続いて、末梢血幹細胞移植についての学習として、医師の講義と学会の合同シンポジウムへの参加となりました。末梢血幹細胞移植は、ドナーの方にとっては選択肢の拡大、患者さんにとってはコーディネート期間短縮の可能性があり、骨髄バンク事業にとって大きな課題となっています。また、コーディネーターはドナーの方への説明で重要な役割を担うこととなります。学会の市民公開講座として開催された「骨髄バンク移植1万例、さい帯血バンク5千例の歩み記念講演会」にも参加し、骨髄バンクの事業の考え方やこれまでの経緯について再確認の機会となりました。2日目は、コンピテンシーに関する研修でした。コンピテンシーは、今年、初めての試みとして研修に取り入れられましたが、より良いコーディネートを実現する一つの手法であり、この一年の研修の成果について各地区から発表が行われました。また財団からはコーディネーターの新たな制度として、「スーパーバイザー」「職員コーディネーター」「委嘱コーディネーター」の案が報告され、仕事のより良い環境作りに向けて、財団事務局員や日赤職員の方々等を交えたグループ討議が行われました。限られた時間ではありましたが、内容は盛り沢山の研修会となりました。

3 卒業・入学チラシ

この春に高校を卒業する皆様、大学・短大・専門学校等に入学する皆様を対象に、卒業式や入学式で配布していただく骨髄バンクのチラシを作成しました。今年は全国の800校を超える学校で、約17万枚を配布します。合わせて、「骨髄バンク語りべ派遣事業」についてもご案内しており、これから新しい一歩を踏み出す方々に骨髄バンク事業について知っていただき、ドナー登録が推進されることを期待しています。ご協力いただいている学校関係者の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

4 1月の区分別ドナー登録者数

1月の区分別ドナー登録者数は、献血ルーム/1,362人、献血併行型集団登録会/1,222人、集団登録会/36人、その他/116人でした。

5 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
常任理事会	公開・一部非公開	2月18日(水) 17:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室
常任理事会	公開・一部非公開	3月4日(水) 17:00～ 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	2月28日(土) 14:00～ 廣瀬第1ビル2階会議室

! お知らせ

「骨髄バンクの現状」に掲載している「骨髄提供希望者(ドナー)登録現在数」と「非血縁者間骨髄移植実施数」については、これまで全期間の数値を掲載してきましたが、表示スペースが不足してきたため、今月号より直近12年間の表示とさせていただきます。なお、全期間分の数値については財団ホームページの「骨髄バンクデータ集」をご覧ください。財団HP：<http://www.jmdp.or.jp>